

アンテナバラン 組立部品セット KIT-DB-50H-V3

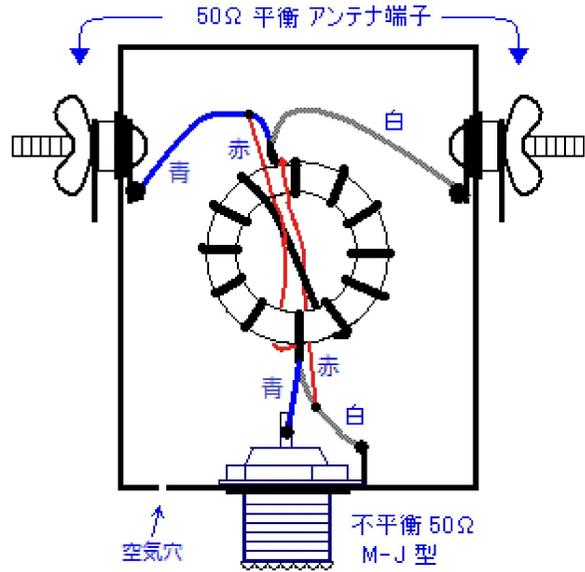
50Ω 不平衡 1:1 平衡 1MHz~50MHz帯
 許容入力電力：連続 100W / CW 200W / SSB 300W
 サイズ50W×75H×30Dmm(突起物を除く) 重量 約 120g

||||| 50Ω 1:1 バランの作り方 |||||

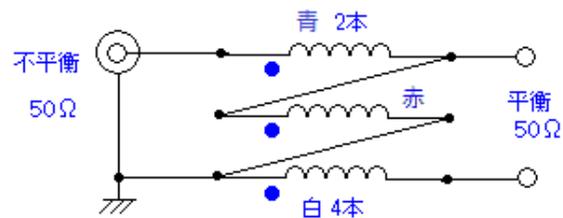
- ①、コアの巻き方の通り、0.51mm 7本組被膜線を、コアに、12回巻きます
- ②、巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
- ③、プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- ④、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑤、接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

構成図

組立完成例

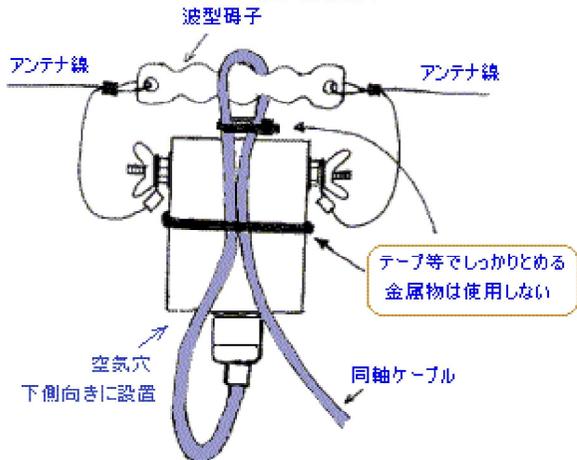


回路図

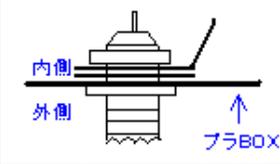


部品表	
フェライトコアE04RC311908	—1
0.51mm7本皮膜より線65cm	—1
M型接栓座 M-BR	—1
ステンボルトナットワッシャー	
蝶ナット、ラグ端子	—2組
プラボックス	—1
波型端子	—1
結束バンド	—2

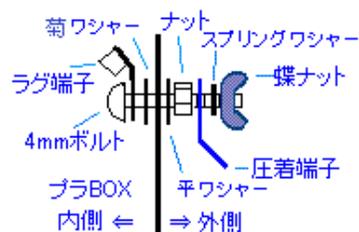
バラン取付方法



同軸接栓座MBRの取付方



アンテナ端子取付方法

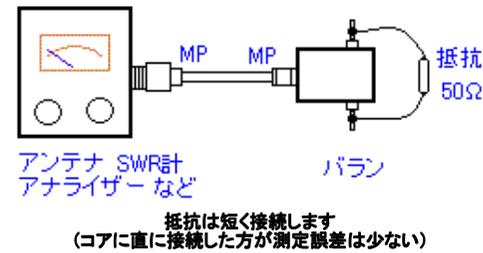


コアの巻き方

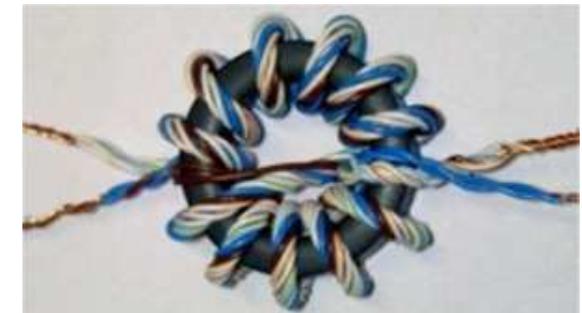
<p>1. 7本より線を半分で折り返します</p> <p>7本より線 白:4本 青:2本 赤:1本</p>	<p>2. 7本より線をコアに約半分の長さで通します</p>	<p>3. 半分の7本より線を6回巻きます (コア内通過数)</p>
<p>4. もう片側半分の7本より線を図のように反対側に引張ります</p>	<p>5. 同様に6回巻きます (コア内通過数) 合計12回巻きます</p>	<p>6. 端末処理 コアに巻いた7本より線の両端とも、下記のように結線ねじり合わせます 白4本組、緑2本組、赤1本を結線し、ねじり合わせます</p> <p>7本より線 白:4本 青:2本 赤:1本</p>

7. 端末配線
赤線は、下図のように巻き始め、巻き終わりを交互して不平衡側の白線と平衡側の緑線と接続します

SWR測定方法



コア完成例



株式会社 **大進無線**
 〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
 TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
 E-mail info@ddd-daishin.co.jp